



## NCJTA NEWSLETTER

### 北加日本語教師会

発行/編集 Northern California Japanese Teachers' Association

<http://www.ncjta.net>

第 50 号・2019 年 3 月発行

## 北加日本語教師会 2019 年春の例会

May 5, 2019

University of San Francisco

### 会長挨拶



### 会長挨拶 永田憲子



今年も3月末になり、ようやく気分も晴れ晴れとする春らしい季節になったと思いましたが、また雨の日が続いたりしています。8年ぶりにカリフォルニアの干ばつが終わったということで、水不足の心配は無いようです。また春学期後半を皆様方と頑張っていきたいと思います。

さて、今年の春例会は5月5日（日）にサンフランシスコ大学で開催いたします。今回は以下二つのテーマで、発表とワークショップを企画しております。午前中は、スタンフォード大学の久保百世先生と向井絵美先生に、多読をテーマに、多読授業の実践例とその役割・可能性についてお話して頂きます。さらに、参加者と多読授業の作成作業を行うワークショップを予定しています。午後は、カリフォルニア州立大学サクラメント校の増山和恵先生に、東京オリンピックをテーマに、オリンピックに関連した日本語授業の実践報告をして頂きます。そして、東京オリンピックに向けた新たなLESSONPLANを作成しながら、その可能性を話し合うワークショップを予定しています。どちらも日本語教育にいかせる大変興味深いテーマですので、先生方の今後の教材開発の参考になればと思っております。

以下が春例会のスケジュールになっております。皆さまお誘いの上、是非お越しください。

NCJTA  
2019  
春の例会



5月5日(日) NCJTA 春例会プログラム

University of San Francisco  
Kalmanovitz Hall 211, 2130 Fulton Street, San Francisco, CA 94117

- 9:30 会費納入・例会登録の受付（お茶のサービスあり）  
当日お弁当の申し込みはできません。
- 10:00 -10:05 会長から開会の挨拶 永田憲子
- 10:05-11:00 発表 久保百世、向井絵美  
「大学多読授業の実践例紹介」  
多読は、英語教育では、授業内活動の一つとして定着し、学習者の読解力向上、語彙力強化、読みに対するモチベーション向上など様々な効果が報告されているようです。本発表では、2015-2016年度より開講となった本校での多読授業を実践例として紹介します。多読とは何か、多読授業とはどんな授業か、多読授業が成功するための準備・考慮すべき点は何かを、なるべく具体的に明示しながら、日本語教育における多読授業の役割とその可能性について、皆様と一緒に考えたいと思います。また、多読授業に焦点を当てることにより、教師の役割・外国語教育の理念等を再考する場が提供できれば何よりです。
- 11:05-12:00 ワークショップ 久保百世、向井絵美  
「多読の素晴らしさの（再）発見！多読授業を作成してみよう」  
ワークショップでは、実際に多読図書を手に取っていただき、多読をしていただきます。そして、カリキュラムの一環として実践可能な多読コース（あるいは多読クラブ）の作成作業とディスカッションを行う予定です。参加なさる先生方が学生に読んでもらいたいと思うような本があれば、お持ちいただければと思います。
- 12:00-1:00 昼食・懇親会
- 1:00-1:55 発表 増山和恵  
「2020 東京オリンピックを取り込んだ日本語授業の実践報告」  
スポーツを通じた人間育成と世界平和を目指す世界的な祭典、東京オリンピック開幕まであと1年。東京オリンピックを授業に取り組むことで、学習者と日本語で「今」の日本の試みを探索し、「がんばる」ことの大切さ、多様性についての理解を深め、東京オリンピックの次世代へのレガシーなどを考え、話し合う機会をもうけてみませんか。本発表では、まず 2018 年 ACTFL でアベロ美恵子先生と発表した“2020 Tokyo Olympics: Cultivate Futuristic Mindset Through Gamification”を紹介しながら、学習者の興味のあるトピック（競技種目、テクノロジー、パラリンピック）や実際に行った授業を報告し、オリンピック教育の可能性のあるテーマ（世界平和、多様性、文化、歴史、環境・社会事情）について考察します。

## NCJTA 会計から



- 2:00-2:55 ワークショップ 増山和恵  
「2020 東京オリンピック：LESSON PLAN の可能性」  
ワークショップでは、授業内、授業外、新しいユニットの作成、既存のカリキュラムへの導入など、様々なユニットやLESSON PLAN の可能性について話し合い、Authentic Material を聞いたり、見たり、読んだりした後、具体的にどんな質問を作ったらよいかについて考えます。その後は、グループに分かれ、東京オリンピックユニット、もしくはLESSON PLAN を作成します。オリンピックで授業を「活性化」し、日本文化のアドボカシーをしませんか。
- 2:55-3:05 会長から閉会の挨拶、写真撮影
- 3:10-3:30 NCJTA 役員会

なお、申し込み締め切りは 4 月 25 日（木曜日）必着となっています。申込用紙にご記入の上、会計役員までお申し込みください。（詳しくは以下「会計から」の欄をご参照ください。）

## NCJTA 会計から

NCJTA の会費は一般 15 ドル、学生 5 ドルです。2019 年度分の会費（2019 年 1 月 1 日から 12 月 31 日まで有効）を未納の方、また新会員に登録される方は、添付の会費納入/新会員登録用紙とともにチェックをご郵送ください。昨年までの会費が未納の方も、今年のみ会費で結構です。

春の例会に参加する方は、同じく添付の春の例会申込書をご記入の上、ご郵送ください。尚、今年度の春の例会では、お弁当は事前にご注文いただいた方のみに準備させていただきます。お弁当代\$10を添えてお申し込みください。当日のお弁当の申込みは受け付けませんのでご了承ください。また、当日不参加によるお弁当代のご返金は致しかねますので、予めご了承ください。例会/お弁当の申し込みの締め切りは 4 月 25 日、木曜日（必着）です。余裕を持ってご郵送ください。皆様のご参加をお待ちしております。

チェック支払先：NCJTA  
チェック送付先：Momoe Saito Fu  
521 Memorial Way  
Knight Building, EALC Department  
Stanford, CA 94305-2000

事前登録締め切り：4 月 25 日（木）必着

（文責：斉藤）

## 春の役員会議事録



## 春の役員会議事録

日時：2019年2月10日午前11時より午後2時まで

場所：311 Kalmanovitz Hall, University of San Francisco

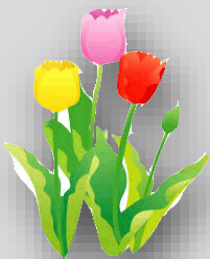
出席者：永田、南、斉藤、高松、和氣、田中、熊倉、伊藤、鈴木、宮本、清水、須田（記）

### 議題

- 2018年秋の役員会の議事録の承認
- 役員任期満了に伴う役員改選について
  - 広報とウェブ担当が2019年春に任期満了
  - 小学校代表と中学校代表が2019年秋に任期満了
- 会計報告
- 2019年春のNCJTA例会について
  - 5月5日（日）University of San Francisco (USF)にて開催
  - テーマは「オリンピックをテーマにしたLESSONプラン」（カリフォルニア州立大学サクラメント校の増山先生に依頼）及び「多読のクラス」（スタンフォード大学の向井先生に依頼）
- 春のニュースレターについて
- 「第47回小学生お話大会」について
  - 北加日米会、サンフランシスコ総領事館、NCJTA 共催の「小学生お話大会」にNCJTA から100ドルを寄付

（文責：須田）

## 2018年 秋の例会報告



## 秋の例会

NCJTA 秋の例会は例年通り、FLANC との合同開催という形で、10月27日（土）に Saint Mary's College で開催されました。

午前中のセッションでは、サンフランシスコ州立大学の南先生が「日本語学習者の「語り」の分析：言語教育からの考察」という題で発表されました。様々な日本語学習者の体験談（ノンフィクション）や架空の出来事（フィクション）を、その談話構造と特徴、母語の影響について分析しながら説明して下さいました。教師が多様な背景を持つ学習者の語りの傾向を理解することで、授業でのより効果的な指導が可能になるのではないのでしょうか。

## 『言葉の窓』



午後のセッションではまず、ネバダ大学リノ校の門脇先生と鈴木先生が実際に開発された、反転授業用オンライン教材「Grammar Video for Genki」を紹介され、その取り入れ方や効果について、経験、実績を基に説明して下さいました。ネバダ大学では、反転授業導入により、学習者の自信の向上、授業時間の効果的な使用、セクション間の差の解消など、多くの利点があったとのことでした。特に限られた授業時間の中で、できるだけコミュニケーション活動に時間を当てたいと思われている多くの先生方が、その可能性に興味を示されました。

最後に、サンフランシスコ大学の永田先生と須田先生が、実際に大学の漢字のクラスと読解のクラスで部分的に導入されている反転授業を紹介して下さいました。読解の授業では特に学生中心の対話やコミュニケーション活動に時間を使いたい、漢字のクラスでは成り立ちや部首なども教えたいが時間が限られてできない、という先生方にとって大きなヒントになりました。また今後の教材開発として、どんな内容が反転授業に適しているか、教師の時間的負担の考慮や技術面でのサポートがあるか、などについても意見交換ができました。

(文責：今川)

### 『世代によって違う言葉使い』

斎藤真由美先生

カリフォルニア大学デービス校



おしゃれで若く見られる五十代後半の友人が、若い友達に「寒い時はとっくりのセーターがいいよね」と言ったら、「とっくりのセーターって何ですか」と言われてショックだったとこぼしていました。「とっくり」ではなく「タートルネック」というべきだったのでしょうか。

十代、二十代の学生を相手に教師をしている私達にとって、どの言葉を教えるかは重要です。誰も使わない死語や一部の高校生しか使わない若者言葉を教える必要はありませんが、老年、中年世代が使う言葉はどう扱うべきでしょうか。実際多くの場合、ベテランの教師は中年世代なので、自分が普段使っている言葉が若い世代の人に通じるかどうか確かめた方がいいかもしれません。ちなみに厚生労働省によると中年とは四十五歳以上六十五歳以下、NHK 放送文化研究所の調査によると四十歳以上五十五歳以下だそうで、お役所が考える中年と一般の人が思う中年とかなり差があることがわかります。

「とっくりのセーター」と言われても違和感を感じない私は老年、中年世代の言葉を若い人は本当に知らないのか調べたくなりました。そこで、日本大学生にアンケートをすることにしました。幸い、私が勤めているカリフォルニア大学デービス校には毎年日本から多くの留学生が来ていて、ボランティアあ

るいは単位を取って、日本語のクラスで手伝ってくれています。それで、私のクラスで手伝ってくれている日本人大学生、その友人に以下のアンケートに答えてもらいました。選んだ言葉は「世代によって違う言葉使い」で検索した結果出てきた言葉の一部です。

以下の下線の言葉について ABC から答えを選んでください。

1. アベックがいた。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
2. とっくりのセーターはいい。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
3. ちりし・ちりがみがない。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
4. ねまきに着替えた。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
5. チャックが壊れた。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
6. ハッカの飴を食べた。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
7. リンスを使った。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
8. あの人、ハンサムだね。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
9. うばぐるまを見た。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた
10. チョッキを買った。 ( ) \_\_\_\_\_から・で聞いた

A: この言葉を使う。

B: この言葉は聞いたことがあるけど、使わない。この言葉は\_\_\_\_\_から・で聞いた。

C: 知らない。

アンケートに答えてくれた人は 22 人（男性 14 人、女性 8 人）で年齢は 19 歳から 23 歳でした。

結果は以下のようでした。

|          |                |                |                |
|----------|----------------|----------------|----------------|
| 1. アベック  | A 0%           | B 40.9%        | C <u>59.1%</u> |
| 2. とっくり  | A 0%           | B 40.9%        | C <u>59.1%</u> |
| 3. ちりがみ  | A 22.8%        | B <u>68.2%</u> | C 9.0%         |
| 4. ねまき   | A <u>59.1%</u> | B 40.9%        | C 0%           |
| 5. チャック  | A <u>100%</u>  | B 0%           | C 0%           |
| 6. ハッカ   | A <u>72.8%</u> | B 13.6%        | C 13.6%        |
| 7. リンス   | A <u>100%</u>  | B 0%           | C 0%           |
| 8. ハンサム  | A <u>81.8%</u> | B 18.2%        | C 0%           |
| 9. うばぐるま | A 18.2%        | B <u>68.2%</u> | C 13.6%        |
| 10. チョッキ | A 22.8%        | B <u>63.6%</u> | C 13.6%        |

この結果からアンケートに答えた大学生の半数以上が「ねまき」、「チャック」、「ハッカ」、「リンス」、「ハンサム」などの言葉を使うことがわかった一方、「アベック」、「とっくり」は使っている人がいなかったこと、また「ちりがみ」、「ハッカ」、「うばぐるま」、「チョッキ」を知らない人もいたことは、とても興味深かったです。尚、Bを選んだ人はその言葉を親や祖母から聞いた。あるいは本やテレビで知ったという人が多かったです。

母語話者だから、日本語教師だからと言って、自分の言葉遣いを盲目的に信じるのではなく、どの言葉を使うかは世代差があることを意識しながら、教える時に役立てていきたいと強く思いました。

## 第 47 回小学生日本語お話大会 報告 南雅彦先生

北加日米会、北加日本語教師会ならびに在サンフランシスコ日本国総領事館の共催で、『第 47 回小学生日本語お話大会』（47<sup>th</sup> Annual Japanese Speech Contest for Elementary School Students）が、3 月 3 日（日）にサンフランシスコ・ジャパントウンの Japanese Cultural and Community Center of Northern California（JCCCCNC）で開催されました。当日は、2 月末から間断なく続いていた荒天にもかかわらず、ベイエリアの 7 校（American International Montessori School, Clarendon JBBP Elementary School, Kinmon Gakuen, Pine Japanese Language Afterschool, Rosa Parks JBBP Elementary School, Sakura Gakuen, San Mateo Nippon Gakuyen）から参加した 33 名の小学生が、心温まるお話、大好きな食べ物や行事、将来の夢、家族、日常生活など、さまざまなお話を写真などのプロップを用いながら身振り手振りで熱心に話し、日頃の学習の成果を披露してくれました。

小学校 1 年生から 3 年生までの低学年カテゴリー、4 年生以上の高学年カテゴリーに分け、さらに家庭で日本語を話さないグループと、家庭で日本語を話すグループに分けることで審査の公平を期しました。カテゴリー 1（家庭で日本語を話さない小学 1 年生～3 年生）4 名、カテゴリー 2（家庭で日本語を話す小学 1 年生～3 年生）9 名、カテゴリー 3（家庭で日本語を話さない小学 4 年生以上）8 名、カテゴリー 4（家庭で日本語を話す小学 4 年生以上）12 名、4 カテゴリーで計 33 名、各発表者のお話の制限時間を 2 分としました。

日本語を外国語として学校で学んでいるお子さん、日本語をヘリテージ・ランゲージ（継承言語）としてご家庭でご使用のお子さん、いずれにしても、第二言語でスピーチをすることはたいへん勇気のいることで、人前でスピーチをするとなると、その困難さはいっそうのことです。それにもかかわらず、とてもすばらしい出来映えでした。学校やご家族をはじめ、約 150 名の方々の応援で大盛会となりました。本大会に出場するために練習を積んできた出場者の皆さん一人ひとりの健闘を讃えたいと思います。

お話大会は今回が初めてのご参加で審査員長をお務めになった在サンフランシスコ総領事館の井龍一浩首席領事もその日本語スピーチレベルの高さに改めて感銘していらっしゃいました。井龍首席領事他、審査員は、要藤靖彦（北加日本商工会議所教育委員会委員長）、伊藤潤子（加州日本語教師会大学代表）、小森やちよ（北加ジャパン・ソサエティ日本語インストラクター）、マシュー・ハンター（ビズ・メディア出版アソシエイト・プロデューサー）の各氏にお務めいただきました。

審査は、前述の永吉首席領事を委員長として、日系地域社会で活躍しているリーダー、日本語の普及に従事している地域の日本語教師の方に依頼し、入賞者を選出しました。北加日本語教師会ばかりでなく加州日本語教師会でも役員をお務めの伊藤潤子先生（UC Davis）には日本語教師を代表して審査員をお務めいただきました。高松信子先生（サンフランシスコ州立大学、金門学園など）には北加日本語教師会を代表して受付などのお手伝いをいただきました。入賞者には賞状と賞品そしてトロフィーを授与、各カテゴリーで 1 名に特別賞を授与、参加者全員にも賞状、参加賞、そしてトロフィーを授与することで、入賞者と遜色のないようにし、教育的にも配慮しました。



大会委員長は4年連続で南雅彦（サンフランシスコ州立大学）が務めました。なお、今回の結果は下記の通りです。この場をお借りして、後援団体、関係者、審査員の方々、多くの方々のご協力のおかげで、「第47回小学生お話大会」が無事に開催できましたことを心より感謝申し上げます。



カテゴリー1 家庭で日本語を話さない小学1年生～3年生

一等賞：エリー・トワルドス（Grade 3, Clarendon JBBP Elementary School）

「わたしのはじまりのおはなし」

二等賞：ソフィア・オクダ・ラウ（Grade 3, San Mateo Nippon Gakuyen）

「私はファッションデザイナー」

三等賞：ジョナ・ゴールドストーン（Grade 3, Clarendon JBBP Elementary School）

「ぼくのまち、バーナルハイツ」

特別賞：サニース・アラニ（Grade 2, Pine Japanese Language Afterschool）

「ガールスカウト」

カテゴリー2 家庭で日本語を話す小学1年生～3年生

一等賞：フジイ 真育（Grade 3, Sakura Gakuen）

「きせきの薬」

二等賞：スパーゴ 穰世歩（Grade 2, Sakura Gakuen）

「レゴアルバム」

三等賞：チャンヨンパタナクル 圭（Grade 2, Sakura Gakuen）

「ぼくはおにいちゃん」

特別賞：南 エリ（Grade 3, Clarendon JBBP Elementary School）

「フレッド・コレマツとわたしのお父さん」

カテゴリー3 家庭で日本語を話さない小学4年生以上

一等賞：エミリー・ローン（Grade 5, Sakura Gakuen）

「えちぜんわし」

二等賞：レオ・トムソン（Grade 4, Clarendon JBBP Elementary School）

「おおぞらの中へ」





三等賞：リー まさお (Grade 4, Sakura Gakuen)

「おじいさんの馬頭琴」

特別賞：タイラー・タチキ (Grade 5, Clarendon JBBP Elementary School)

「神奈川県の子は、今も続く」

カテゴリー4 家庭で日本語を話す小学4年生以上

一等賞：リンズリー 伶雄 (Grade 5, Clarendon JBBP Elementary School)

「たんこうふだったひいおじいちゃん」

二等賞：リダン 甲斐 (Grade 5, Clarendon JBBP Elementary School)

「たこやきが大好きなぼく」

三等賞：チャンヨンパタナクル 爽 (Grade 4, Sakura Gakuen)

「わたしの新しい家族」

特別賞：千石 あやめ (Grade 5, San Mateo Nippon Gakuen)

「紅白歌合戦」

審査員 (敬称略)

井龍 一浩

在サンフランシスコ日本国総領事館首席領事

要藤 靖彦

北加日本商工会議所教育委員会委員長

伊藤 潤子

加州日本語教師会大学代表

小森 やちよ

北加ジャパン・ソサエティ日本語インストラクター

マシュー・ハンター ビズ・メディア出版アソシエイト・プロデューサー

## お知らせ

### 総領事館インフォメーションセンターから

#### 第52回北加桜祭り

第52回北加桜祭りが4月13-14日及び20-21日にサンフランシスコ日本町において開催されます。

この祭りには毎年20万人以上の人々が来場し、米国内でもワシントンDCの全米桜祭りに次ぐ規模の桜祭りとなっています。様々な日本関連のイベントが行われますので、学生や生徒の皆さま、コミュニティの方々に広くご案内ください。

北加桜祭りの詳細についてはこちらをご覧ください：

<http://sfcherryblossom.org/>

(サンフランシスコ日本国総領事館 草清 理絵)



## 先生の紹介欄

### 久保百世先生



- お名前を教えてください。  
久保百世です。
- 教えている学校名、町を教えてください。  
スタンフォード大学です。パロアルトの隣にあります。
- 日本語教師はいつから？  
1992年の夏から現職に就きました。

- ご趣味は？  
読書と映画鑑賞、それから美術館めぐりです。衝動買いをするのも大好きです。
- 日本の出身地は？  
千葉県千葉市です。マツコ・デラックスが放課後寄り道していたコンビニで、私もアイス最中を買って食べていました。
- アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。  
四半世紀になるでしょうか。
- 仕事について、何か一言お願いします。  
平日・週末関係なく働いています。たぶん、この仕事が心底好きだから続けることができたんだと思います。
- 会員みなさんへのメッセージがあればどうぞ。  
5月にお目にかかるのを楽しみにしております。

### 向井絵美先生



- お名前を教えてください。  
向井絵美（むかいえみ）と申します。
- 教えている学校名、町を教えてください。  
スタンフォード大学です。(Stanford, CA)
- 日本語教師はいつから？  
2012年の8月からです。

- ご趣味は？  
走ること、映画鑑賞、ワイン

- 日本の出身地は？  
長崎市です。
- アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。  
16年になります。
- 仕事について、何か一言お願いします。  
教えるということは、つまり、勉強することだなと（ありきたりですが）日々感じています。学生たちの成長を励みに楽しんでいます。
- 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。  
多読ワークショップをさせていただく機会をいただけて、大変ありがたく思っております。皆様にお会いして、いろいろなディスカッションができますことを、心より楽しみにしています。よろしくお願いいたします。

### 岩崎直子先生



- お名前を教えてください。  
岩崎直子です。
- 教えている学校名、町を教えてください。  
三年前からサクラメント近郊のエルクグローブのシェルドン高校で教えています。以前はローズビルの町で17年間日本語を教えていました。
- 日本語教師はいつから？  
日本語を教えて始めたのは1999年ですから、もう20年になります。
- ご趣味は？  
毎日の散歩と音楽とキルトです。特に、今はキルトに凝っています。
- 日本の出身地  
佐世保バーガーで有名な長崎県の佐世保出身です。
- アメリカ／カリフォルニアに来てから何年ですか。  
カリフォルニアに来て、もう今年で35年が経ちました。
- 仕事について、何か一言お願いします。  
先日生徒にインタビューを頼まれました。「先生にとってアメリカンドリームは何ですか。」とインタビューの中で問われ、「大学生の時に将来必ず日本と外国の架け橋になる仕事がしたいと思っていて、今こうやって多くの高校生に日本語を教えることで社会に貢献していることこそ私のアメリカンドリームだ」と答えました。この20年間毎日のレッスンに追われて大変な反面、生徒たちと接する中で築いてきた貴重な体験をこれからも大切にして、頑張っていきたいです。

学校からの  
ニュース！

プレシディオ中学校  
田中理恵先生

ロスガトス高校  
原裕輝子先生

➤ 会員のみなさんへのメッセージがあればどうぞ。

ここ三年通勤が遠くなりそのストレスで片頭痛で悩んでいます、他の先生方も雨にも風にもめげず頑張ってらっしゃると思うと本当に励みになります。

私の学校でこんなことが……

お正月にはみんなでお餅を丸めて、お雑煮を食べました。



節分には8年生は恵方巻き、6、7年生は「年の数だけ大豆をお箸で速く移動ゲーム」をしました。

ロスガトス高校の日本語レベル2：ロスガトス高校の調理室で、ピューレ状の大豆を煮ているところ。これを濾したものが豆乳になります。



日本語多読ライブラリー（レベル0）で「大豆」について読んだあと、実際に豆腐を作ってみました。豆腐の作り方の Running Dictation や大豆に関する豆知識クイズをしたり、レシピ漫画などを描かせて、豆腐ができるまでの手順について学びました。Culinary の先生の協力を得て、

高校の調理室を使わせてもらいました。生徒たちは、班に分かれて、習った手順にそって豆腐を作りました。にがりを入れ忘れたり、煮こぼしたり。てんやわんやの中、出来たてほやほやの豆乳に舌鼓をうち、豆腐のできる過程を楽しんでいました。自分たちで作った豆腐を実際に毒味したのは次のクラスでしたが、見かけはともかく、やはり手作りの豆腐は美味しかったです。生徒たちが春休みに家族と作ってくれるといいのですが……。豆腐も枝豆も納豆も醤油も味噌も油も、大豆からできることをしっかり覚えてくれたはず、です。

ネバダ大学  
鈴木紗弓先生



ネバダ大学リノ校では昨冬から、Kanji Snow Art Contest を行なっています。学習した漢字と雪を使ったアート作品を募り、春学期終了時に投票で入賞者を決めます。今年は本物の木の枝で雪に跡をつけ、折り紙で鳥を表現した「木と鳥」、雪像で表現した「犬」などの作品が集まっていますが、果たしてどの作品が優勝するのでしょうか。

北加日本語教師会  
連絡先

#### NCJTA Officers

##### <事務局>

<http://www.ncjta.net/>  
NCJTA. c/o Nagata Noriko  
Modern and Classical Languages, Kalmanovitz Hall 382  
University of San Francisco  
2130 Fulton Street, San Francisco, CA 94117-1080  
E-mail: [nagatan@usfca.edu](mailto:nagatan@usfca.edu)

##### <役員>

会長： Noriko Nagata 永田憲子(同上)

副会長： Masahiko Minami 南雅彦  
San Francisco State University  
E-mail: [mminami@sfsu.edu](mailto:mminami@sfsu.edu)

書記： Kyoko Suda 須田恭子  
University of San Francisco  
E-mail: [sudak@usfca.edu](mailto:sudak@usfca.edu)

会計： Kondo Mayu 近藤まゆ  
San Jose State University  
E-mail: [mayu200987@gmail.com](mailto:mayu200987@gmail.com)  
Momoe Saito Fu 斉藤百恵  
Stanford University  
E-mail: [msfu@stanford.edu](mailto:msfu@stanford.edu)

ニュースレター編集：Yuriko Miyamoto 宮本百合子  
University of California, Berkeley  
E-mail: [ymcaltabiano@berkeley.edu](mailto:ymcaltabiano@berkeley.edu)  
Kayoko Imagawa 今川香代子  
University of California, Berkeley  
E-mail: [kimagawa@berkeley.edu](mailto:kimagawa@berkeley.edu)

広報：Masako Shimizu O'Bryan 清水オブライアン真佐子  
University of San Francisco  
E-mail: [masakoshimizu@sbcglobal.net](mailto:masakoshimizu@sbcglobal.net)

フランク連絡員：Masahiko Minami 南雅彦  
San Francisco State University  
E-mail: [mminami@sfsu.edu](mailto:mminami@sfsu.edu)  
Nobuko Takamatsu 高松信子  
E-mail: [nobukot@sbcglobal.net](mailto:nobukot@sbcglobal.net)

ウェブ担当：Koraku Mikami 三上香楽  
Eimei University  
E-mail: [tmfrontier@gmail.com](mailto:tmfrontier@gmail.com)

#### <各レベル代表>

小中学校代表：Kaori Waki 和氣かおり  
Rosa Parks JBBP Elementary School  
E-mail: [kwaki@sbcglobal.net](mailto:kwaki@sbcglobal.net)  
Rie Tanaka 田中理恵  
Presidio Middle School  
Email: [rietanaka@gmail.com](mailto:rietanaka@gmail.com)

高校代表：Tadashi Suzuki 鈴木正  
John F. Kennedy High School  
E-mail: [tadashiszk@yahoo.com](mailto:tadashiszk@yahoo.com)

学園代表：  
E-mail:

コミュニティーカレッジ代表：Akihiko Kumakura 熊倉昭彦  
Diablo Valley College  
E-mail: [AKumakura@dvc.edu](mailto:AKumakura@dvc.edu)

大学代表：Junko Ito 伊藤潤子  
University of California, Davis  
E-mail: [jito@ucdavis.edu](mailto:jito@ucdavis.edu)



Northern California Japanese Teachers' Association



## Northern California Japanese Teachers' Association

### 会費納入/新会員登録用紙

前年度もしくは前々年度から未納入の会員の方々におかれましては、過去にさかのぼって未納入分はご請求いたしませんので、是非とも今年度分からお支払いいただけますよう、切にお願い申し上げます。

2019年度分の会費は2019年1月1日から2019年12月31日まで有効となっております。

年会費 一般\$15、学生\$5      Check payable to: NCJTA

Mail to: Momoe Saito Fu  
521 Memorial Way  
Knight Building, EALC Department  
Stanford, CA 94305-2000

(新規・継続) どちらかに○をつけてください。

Name: \_\_\_\_\_

Affiliation: \_\_\_\_\_

School/office Address: \_\_\_\_\_

Home Address: \_\_\_\_\_

E-mail: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_

Phone: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_

1) 受理確認メール (要・不要) 2) 領収書 (要・不要) どちらかに○をつけてください。

.....き.....り.....と.....り.....線.....

### 住所変更/氏名変更等届出用紙

下記のうち該当する変更事項を○で囲み、必要な情報を書き入れてください。

変更のない方は、提出の必要はありません。

Mail to: Momoe Saito Fu  
521 Memorial Way  
Knight Building, EALC Department  
Stanford, CA 94305-2000

1. 氏名の変更 旧氏名 (漢字/カタカナ) :  
(英語) :  
新氏名 (漢字/カタカナ) :  
(英語) :

2. 住所変更/勤務先変更 (新しい情報だけご記入ください。)

Name: \_\_\_\_\_

Affiliation: \_\_\_\_\_

School/office Address: \_\_\_\_\_

Home Address: \_\_\_\_\_

E-mail: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_

Phone: Home: \_\_\_\_\_ Work: \_\_\_\_\_





## Northern California Japanese Teachers' Association

### 2019 Spring Conference

**May 5 (Sunday) | 10:00am-3:00pm | University of San Francisco**

Kalmanovitz Hall 211, 2130 Fulton Street, San Francisco, CA 94117

- 久保百世先生、向井絵美先生 スタンフォード大学  
発表「大学多読授業の実践例紹介」  
ワークショップ「多読の素晴らしさの（再）発見！多読授業を作成してみよう」
- 増山和恵先生 カリフォルニア州立大学サクラメント校  
発表「2020東京オリンピックを取り込んだ日本語授業の実践報告」  
ワークショップ「2020東京オリンピック：レススンプランの可能性」  
(詳しいプログラム内容は2019年春ニュースレターの会長挨拶に記載されています。)

### Registration Form

**DEADLINE: Thursday, April 25, 2019 (必着)**

Please complete, make check payable to NCJTA and mail to:

Momoe Saito Fu  
521 Memorial Way  
Knight Building, EALC Department  
Stanford, CA 94305-2000

Name: \_\_\_\_\_

Email address: \_\_\_\_\_

School/Institution: \_\_\_\_\_

---

#### Please check the box(es) below.

- |                                                                             |                                                  |
|-----------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------|
| <input type="checkbox"/> Spring Conference Registration                     | <u>FREE</u>                                      |
| <input type="checkbox"/> Lunch (各弁当代は \$15 のところ NCJTA から \$5 ずつの支援で \$10)   | <u>\$10.00</u>                                   |
|                                                                             | <u>Circle ONE (Vegetarian OR Non-Vegetarian)</u> |
| <input type="checkbox"/> 2019 Membership Fee (if NOT paid yet)              | <u>\$15.00</u>                                   |
| <input type="checkbox"/> 2019 Membership Fee for Students (if NOT paid yet) | <u>\$5.00</u>                                    |

---

\*新規、住所変更等のある方は別紙「新会員登録用紙」もご同封下さい。